

JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、10月25～29日に長崎県で行われました、全国和牛共進会での北海道出品者団の集合写真です。詳細は2・3ページをご覧ください。



CONTENTS

- * 第10回全国和牛能力共進会
- * 2012池田農業祭
- * 第27回 JA北海道大会開催
- * 21NEWS アラカルト
- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2012.

12
DECEMBER
No.036

第10回全国和牛能力共進会

「和牛五輪」で堂々の全国6位！

着しました。

10月24・25日
写真撮影・開会式
出品牛測定

出品牛到着の翌日24日には出品牛の写真撮影が行われ、この日は調教等を行わず、長距離の

共同が、10月25日～29日に長崎県佐世保市のハウステンボスをメイン会場に開催されました。この全共は5年に1度開催される和牛の祭典で、通常「和牛五輪」。全国の優秀な和牛が一堂に会し、改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」に38道府県から480頭が出品され、期間中の来場者数は延べ約48万6千人にものぼりました。

当JA管内からは清水孝悦さん（東台）の「きよゆり」、武田大治さん（千代田）の「ゆりな」が22頭の北海道代表牛に選抜され、記念すべき第10回大会で初の全共出場を果たしました。



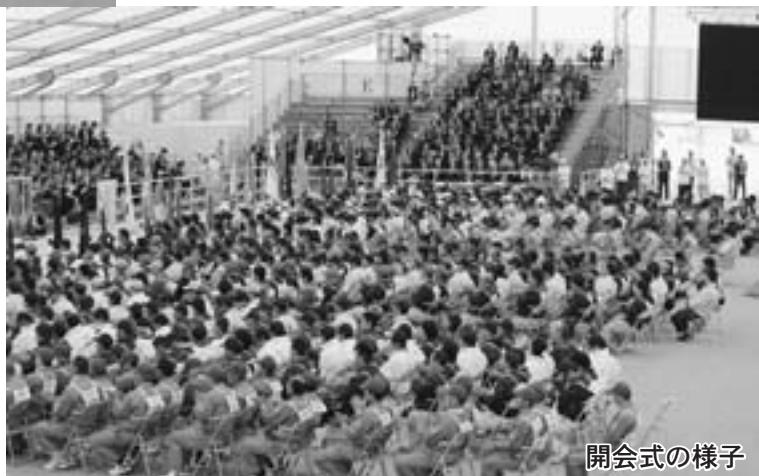
清水孝悦さんと「きよゆり」



武田大治さんと「ゆりな」

輸送で疲れていた牛達を休ませることに専念しました。

10月25日午前、開会式が盛大に開催され、午後からは体重測定・測尺及び栄養度審査が行われました。ここでは体の各部位を測定するだけでなく、審査員が出品牛を初めて確認、また牛に触れ栄養状態を確認する重要な審査となりましたが、この日も無事に審査日程を終える事ができました。



開会式の様子

10月19日 出発式

出品牛出発の日、JA前にて出発式が開催されました。早朝にも



「ゆりな」



「きよゆり」

10月26・28日
審査・等級決定



審査の様子

10月26日、いよいよ「第5区（繁殖雌牛群）」の審査が行われました。この出品区は、改良の基盤となる繁殖雌牛集団の齊一化を図るとともに、改良組合を中心とした集団活動による改良成果の確認と技術向上を目的とした出品区で、全国各地から選抜された15組・60頭の代表牛が体型や品位の齊一性等を競いました。



審査の様子

清水さん、武田さんの2頭と、足寄町の2頭で4頭1群として出品されました。審査時間が1時間30分と非常に長い中、満員の観客で埋めつくされた会場内でも出品牛・出品者とともに非常に落ち着いておりました。

10月28日には等級決定審査

が行われ、序列が決定。結果は優等賞6席、目標としては上位3位入賞はなりませんでしたが、北海道勢で最高の全国6位という大変輝かしい

成績となりました。

今回の全共での貴重な経験は、地域の和牛改良への大きな弾みとなり、今後の品評会・共進会への積極的参加と活躍が期待されます。

最後に、本共進会出品にあたり、長期間にわたる関係者の皆様のご支援・ご協力、更には会場まで多数の生産者・関係者の皆様が応援に駆け付け、声援を送ってくださいましたことに深く感謝申し上げ、第10回全国和牛能力共進会のご報告と致します。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)



優等賞6席受賞

2012 池田農業祭

今年も豊穣の秋に感謝し、収穫の喜びを地域の皆様と共に分かち合おうと11月15日から17日までの3日間「2012 池田農業祭」が農協本所駐車場ジャンボテントにて開催され、多くのお客様で賑わいました。

15日には農協本所大会議室において、農協法公布記念式が開催され、理事・監事の皆さんや女性部・青年部の役員の皆さんと職員が列席し、鈴木組合長の講話、三村職員の決意表明などが行われ、中島代表監事の万歳三唱で締めくられました。同会場では引き続き「農業祭修祓式」が行われ、今年の収穫に感謝するとともに、農業祭の無事などを祈願致しました。

Aコープ店前では、地場産の野菜即売会が行われ馬鈴薯・ネバリスター・ゆり根・玉ねぎ・豆等が格安で提供され、特に名物の玉ねぎのネット詰め放題には人気が集まり、多くのお客様で賑わいました。



農業祭修祓式の様子

又、和牛生産組合あか牛部会の皆さんによる「いけだ牛」即売会では、いまだ牛2頭分の牛肉が格安で提供されました。更には、2日目の16日から2日間札幌市のスープカレーの有名店『らつきよ札幌』が出店し、飲食コーナーはスペインの良き香りで充満し、うどん・そばのお客様とスープカレーのお客様でお昼時には飲食コーナーは



ここにもち投げで～



いけだ牛の格安販売



上向く暇がない！



昼時に賑わう飲食コーナー



所狭しと並んだ商品



名物！玉ねぎ詰め放題

座る席が無くなるほどの大盛況となりました。他にも抽選会や宝引きなども行われ、3日間多くの地域の方々が訪れ、例年にも増して活気溢れる農業祭となりました。

又農業祭を開催するにあたり、もちまきの準備をして頂いた、各部会のみなさん、うどん・そばの応援を頂いた女性部の皆さん、野菜即売会の応援を頂いた青年部の皆さんには誌面をお借りし心より感謝を申し上げます。

(記事・営農部営農課長
長井 勉)



女性部・酪農振興会 牛乳消費拡大PR

11月16日（金）、農業祭2日目のジャンボテント内にて、女性部・酪農振興会による牛乳の消費拡大PRを行いました。

これは、ホクレンが主催し十勝地区女性協議会が共催している活動で、牛乳の消費拡大をはかる目的で行われています。

今回は、女性部役員と酪農振興会・婦人部の人たちが、無料で「ホットミルクココア」と「牛乳ようかん」の配布を行い、農業祭にいらした大人から子どもまで沢山の方々に、試飲・試食をして頂きました。

当日、参加頂いた女性部・酪農振興会の皆さん大変お疲れ様でした。

(記事・営農部営農課 遠藤由梨)



第27回 JAグループ北海道大会で2議案を決議（）

第27回JA北海道大会が、11月21日（水）札幌コンベンションセンターで、全道からJAグループ役職員、女性部、青年部部員など約2000名が参加し開催されました。

本大会は3年に一度開催され、農業・JAを取り巻く環境と、今後3カ年のビジョン（目指すべき目標）を基に提出された大会議案を審議し、JAグループ北海道全体で意思決定を行う大会です。

第27回大会では、上程された3つの決議案について、いずれも満場一致で採択され、今後、決議・採択された内容については、着実に実践してゆくため、道内JA及び中央会・連合会は、それぞれの実態を踏まえ工

夫を凝らし、平成25年度からの事業計画並びに農業振興計画・中期計画に反映させ取り組むこととなります。当JAからも、JA役員・女性部役員・青年部役員など8名が参加し決議して参りましたので、大会内容について「」報告致します。

◆記念講演

柴田明夫氏

「世界の食料需給の動向と北海道農業の課題について」

大会に先立ち、株式会社

食糧問題研究所代表柴田明夫氏による「世界の食料需給の動向と北海道農業の課題について」が記念講演として行われました。

講演の内容については、世界の穀物価格は、従前の2～3倍と価格が高騰して

いるが、これは一時的な高騰ではなく、安価な食糧価格の時代が終焉を迎える高い価格帯の時代に入った。

更に、今後も世界人口が増加し続け、食料需給はひつ迫が予測される。その他にも、中国の国力躍進（輸入大国）、バイオエタノールなど新エネルギー需要の増加など、国家間・市場間（食糧とエネルギー）・業種間（農業と工業）で争奪戦が激化し、食糧はもはや國家の食糧安全保障としての位置づけとなつており、石油などと同じ戦略的資源である。

従つて、お金を出せば世界からいくらでも食糧を調達するということは、不可能となりつつあり、今後、

業であり、様々な分野（市場、技術、土地、人材）で

命）が必要と考えられ、社会・経済の中核産業となる」と講演されました。



飛田会長あいさつ



◆第27回JA北海道大会
大会冒頭では、大会長である北海道中央会飛田会長により、食糧・農業情勢とともに、本大会のメインテーマとして「協同活動で

つくる持続可能な農業と豊かな地域社会」を定め、更に、ビジョンに基づき北海道農業編として第1号、JAグループ北海道の組織・事業・経営編として第2号

の2議案と、TPP交渉に関する特別決議が提案されました。

◆メインテーマ 「協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会」

本大会のメインテーマについての骨子は以下の通りです。

- ①消費者への安全安心農畜産物を安定的に供給する使命を果たす持続可能な北海道農業を実現させること。
- ②農業者の高齢化により農家組合員の世代交代が進む中、農業・地域・JAを担う次世代とのつながり強化し協同運動に取り組むこと。
- ③組合員の農業経営と生活を支えると共に、地域ライフラインの一翼を担い豊な地域社会の実現に取り組むことなど。

◆決議案第1号 「持続可能な北海道農業の実現」

J A グループ北海道は農畜産物を安全・安心で安定的に消費者に提供する使命

を果たすため、戦略的テーマの一つ目として決議された内容は以下の4項目です。

◆決議案第2号 「次代を担う協同の実践」

(2) 農業を担う多様な担い手の確保・育成と営農支援機能の強化

(3) 農業者が意欲をもつて農業生産に取り組める農業所得の拡大

(4) 消費者との信頼にもとづく食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践

◆決議案第2号 「次代を担う協同の実践」

◆決議案第2号 「次代を担う協同の実践」

J A グループ北海道は地域農業を振興し、組合員の農業経営と生活を支えると共に、地域に密着した協同活動の実践などにより、なれ・信頼される組織づくりを取り組むため、戦略的テーマの二つ目として決議された内容は以下の5項目。

(1) 地域に即したJA組

尚、第27回JA北海道大会要約版を広報1月号と一緒に配布しますのでご覧ください。

（1）持続可能な北海道農業の実現に向けた運動の展開
（2）総合経営にふさわしいJA経営体制の確立と健全性の向上
（3）協同活動を担う人づくりの実践
（4）協同活動を担う人づくりの実践
（5）国民理解の醸成等に向けた広報活動の実践

◆特別決議 「TPP参加断固阻止」

今大会、日米首脳会談において、正式な参加表明は行わなかつたものの、改めて前向きな姿勢を伝えたことで、TPP交渉参加阻止を実現するまで、組織の総力を結集し、不退転の決意で徹底して闘争するなど、TPPに関する特別決議が行われました。

管 理 課

**全事業所で避難訓練**

J Aでは、防災意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練及び消火訓練を実施しております。

本年は各事業所を対象に、7月のAコープ利別店を皮切りに、池田支所・生産資材課・農産センターの4事業所で実施しました。

訓練内容は、各事業所とも火災発生を想定し、初期消火、消防通報、特にお客様も想定し避難誘導を取り入れ、避難訓練終了後には、消火訓練を行いました。

特に、最後に実施した農産センターでは、豆類や青果物の選別に携わっている従業員も多く、避難誘導訓練にも困難が予想されましたが、課題を残しつつも無事終了しました。

訓練参加者は訓練内容について理解はしていても、実際の避難誘導が上手くできるか不安がありましたが、これらの不安が少しでも払拭できたと同時に、課題も発見できました。

今後も、職員一人一人が災害に対する備えを怠ることなく、防災意識向上のため定期的な避難訓練を実施して参りたいと考えております。

(記事・管理部長 大塚 節)

施 設 課

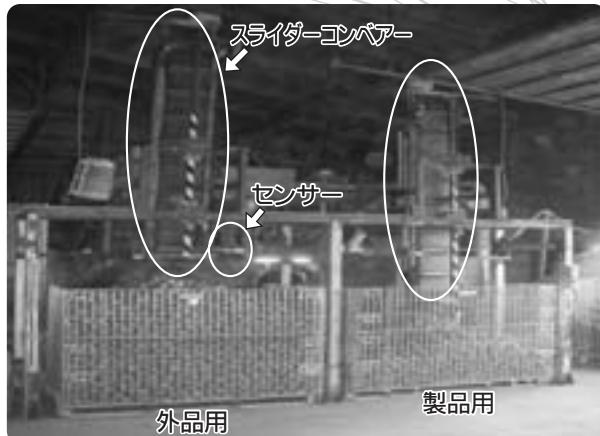
**「加工用玉葱選別」
処理量アップ**

玉葱コンテナ取り用選別機（自家制作によるコンテナ出庫用）の効率アップを目的として試行錯誤を重ね4月～7月にかけてスライダーコンベア（製品・外品用）を2基設置を終え9月上旬より選別を開始し1人でも選別可能となっておりスライダーコンベア設置により選別に集中が出来る事で効率の良さと出来高アップが向上されております。

現在1日当たり10tの処理可能となり昨年から見ますと3t程度アップしております。選別は平成25年1月頃まで続く予定をしておりますので安全を第一にし更に効率アップを図ってまいります。

《スライダーコンベア》

コンテナに製品等が溜る段階でスライダーにセンサーを付け距離により自動的にスライダーが上昇し満杯になると自動的に停止し作業者へ回転灯で知らせる仕組みとなっております。



(記事・農産部施設課 小木 稔)



農産課

物産展の出店について

物産展の出店は直接お客様の声を聞きながら販売を行うとともに十勝池田町農産物のPRを行うことを目的としています。本年は千葉三越と阪急梅田の2つの物産展に出店してきました。

当JAでは豆と野菜を中心に販売しており、9月に出店した千葉三越ではとれたての馬鈴薯や玉ねぎなどの売れ行きが良かったです。11月の阪急梅田では開催時期が遅かったことから、殆どの豆を新物でそろえることができ、昨年を上回る売り上げとなりました。

特に11月14日から11月20日の期間で開催された阪急梅田物産展はリニューアルオープンしてから始めての北海道物産展ということで、大変賑わった物産展となりました。

お正月に向けて光黒大豆や大納言小豆の売れ行きが良く、「とても美味しく頂いています」との感想もあり、十勝池田町の新豆を楽しみにして来て頂いているお客様が多くいらっしゃいました。また、ダイレクトメールを送った方にも来て頂き、お客様の声を聞くいい機会になったと感じております。

これからも各物産展を通して十勝池田町農作物の特徴などを伝えながら販売を行い、PRして行きたいと思います。

(記事・農産部農産課 武田明大)

金融共済課より

J A バンク利子助成事業終了のお知らせ

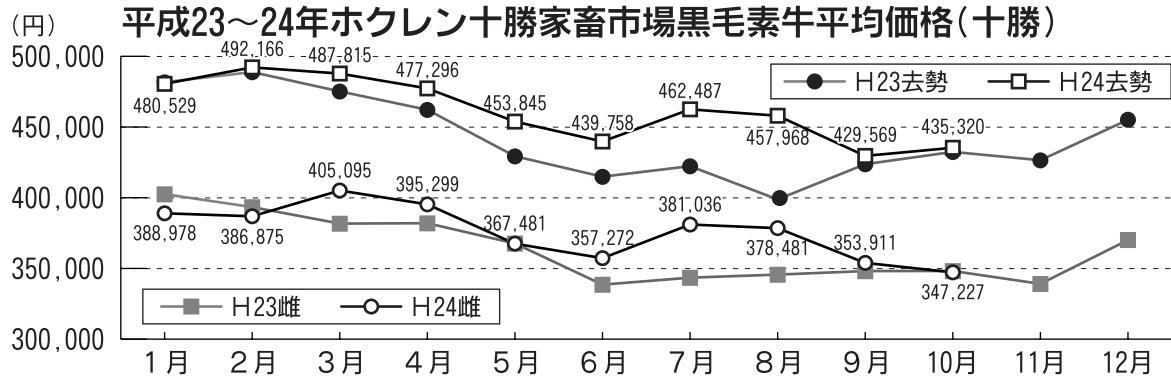
J A バンクアグリ・エコサポート基金が主体となり、JAから農業資金の融資を受ける農業者・農業経営体に対して借入負担の軽減策を図ることで、経営の安定化をバックアップするものとしてJAバンク利子助成事業が実施されております。

「JAフルスペックローン」が対象となります。平成25年3月末をもちまして助成対象期間の終了となります。現在農機具等の購入を検討されている方は、この機会に是非ローンのお申し込みをされますようご案内致します。

対象期間	平成22年4月から平成25年3月
対象資金	J A フルスペックローン（農機具購入及び修理費用・ハウス等資材、建設費用・格納庫建設資金）
助成条件	当初借入額100万円以上
助成内容	最大1%の利子助成を3年間行います



畜産部通信 畜産部 畜産課



10月黒毛素牛出荷区分別成績

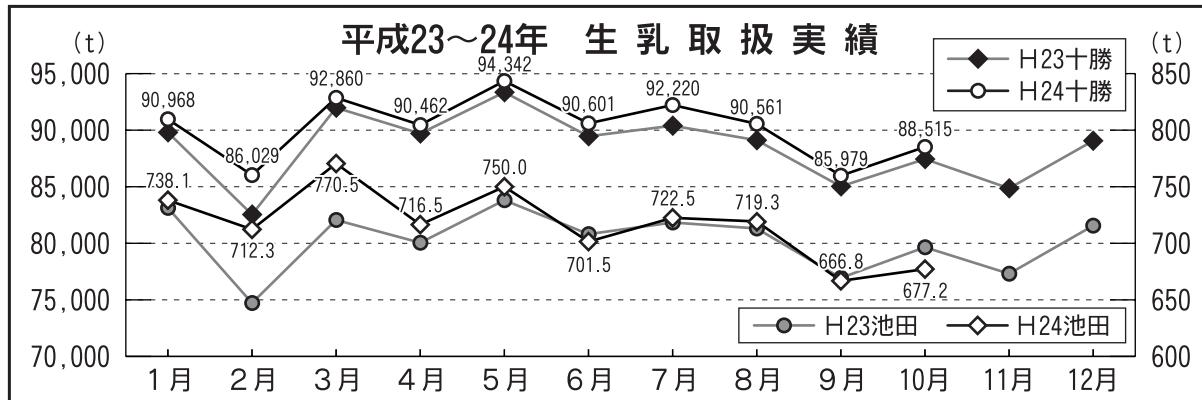
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	745	435,320	
	マニュアル参加牛	388	452,555	52.1
	マニュアル認定牛	147	477,179	19.7
池田	和牛素牛	50	457,065	
	マニュアル参加牛	44	457,943	88.0
	マニュアル認定牛	19	475,429	38.0
雌	和牛素牛	582	347,227	
	マニュアル参加牛	319	351,691	54.8
	マニュアル認定牛	64	380,297	11.0
池田	和牛素牛	35	343,170	
	マニュアル参加牛	29	350,591	82.9
	マニュアル認定牛	10	385,350	28.6

10月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	黒毛去勢	A-5	1,794
	黒毛去勢	A-4	1,639
	黒毛去勢	A-3	1,494
15日	黒毛メス	A-5	1,791
	黒毛メス	A-4	1,632
	黒毛メス	A-3	1,450
F1去勢	F1去勢	B-3	1,126
	F1去勢	B-2	936
	F1メス	B-3	1,039
	F1メス	B-2	890



10月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	478	255,198
9日	乳牛初妊	466	486,251
	乳牛経産	76	276,136
23日	乳牛初妊	454	494,050
	乳牛経産	57	287,221

10月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	22,954
F1オス初生	119,454
F1メス初生	62,606
廃用牛	79,044

▶肉用子牛生産者補給金制度について(パートⅢ)――

今回は、交付手続き及び生産者負担金納付について解説していきます。

生産者補給金が交付されるのは、四半期ごとの、品種別平均売買価格が保証基準価格を下回った場合で、当該四半期内において販売又は保留につき、協会が確認した契約肉用子牛が対象となります。

J Aから販売・保留・異動の確認報告を行い、協会が受理、確認した契約肉用子牛については、毎月協会より「肉用子牛生産者補給金制度に係る販売・保留・異動チェックリスト」がJ Aへ送られ照合、確認し対象子牛が整理されます。

さ ら に

協会はチェックリストで整理された対象子牛について、「生産者補給金交付台帳」により、再度 J A及び農畜産業振興機構の確認を経て、交付金額を確定します。

通知・交付

確定した金額は、農畜産業振興機構から直接、生産者に対し「生産者補給金交付通知書」が送られます。

交付金は生産者の貯金口座へ直接振り込まれます。

生産者負担金の納付手続き

協会は、個体登録申込書によって、4カ月齢（1日生まれは、前月）の月末に J Aに対し生産者負担金の請求書を発行しますので、期日にクミカン及び貯金口座より納付しています。

個体登録申込に係る子牛が死亡などにより異動し、その旨、協会に3カ月齢の月末までに報告があった場合は、負担金の請求から除外します。

しかし、この期限を過ぎると負担金を請求することになり、納付が必要です。

手数料の納付手続き

手数料の徴収は、「生産者負担金」の請求と同時に1頭当たり350円が請求され、負担金と一緒に送金しています。

生産者積立金及び生産者負担金の推移

(単位：円/1頭当たり)

設定時期	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種・乳
平成2年4月1日	9,900 (2,475)		7,000 (1,750)	5,300 (1,325)	
平成5年7月1日	9,900 (2,475)	10,200 (2,550)	21,200 (5,300)	9,900 (2,475)	
平成7年7月1日	9,900 (2,475)	20,200 (5,000)	40,000 (10,000)	24,000 (6,000)	
平成12年7月1日	9,900 (2,475)	11,900 (2,975)	62,300 (15,575)	12,700 (3,175)	6,200 (1,550)
平成17年4月1日	9,900 (2,475)	11,900 (2,975)	62,300 (15,575)	12,700 (5,350)	6,200 (2,600)
平成17年7月1日	9,900 (2,475)	11,900 (2,975)	27,100 (6,775)	12,700 (5,350)	5,000 (2,000)
平成22年7月1日	2,200 (550)	11,900 (2,975)	24,400 (6,100)	12,700 (5,350)	5,000 (2,000)

注：左は生産者積立金、右()は生産者負担金

次回は、補給制度に係る取扱いについて解説します。

理事会の動き

第9回

〈平成24年11月26日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 准組合員の加入・脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 農産物の出荷状況について
- (4) 平成24年産てん菜の概算金支払について
- (5) 共計品及び契約栽培豆類の精算について
- (6) 年末・年始業務について
- (7) 平成24年度目標管理制度の中間面接結果について

★ 議 案 ★

- (1) 自己査定に係る要領等の改正及び、担保査定マニュアルの設定について
- (2) 規定類管理規定の一部改正について
- (3) 部会長手当の支給について

★ 協議案 ★

- (1) 特定組合員の協議経過と年末見込について
- (2) 役員定数について



今月の1枚



今月の1枚は、11月19日（月）に行われた、第37回JA十勝青年部大会での一枚です。

懇親会で行われたアームレスリング大会に出場した、青山の林雅嵩君です。試合後には、“来年も出場する！”と、力強い言葉も頂き、担当者は今から期待しています！

さて、話は変わりますが、先月から始まつた裏表紙の「今月の1枚」ですが、皆さん見て頂けましたでしょうか？もう一人の広報担当者“M”が皆さんからの写真を、首を長くして待っています！ぜひ、ご協力をお願い致します!!

(E)

さて、話は変わりますが、先月から始まつた裏表紙の「今月の1枚」ですが、皆さん見て頂けましたでしょうか？もう一人の広報担当者“M”が皆さんからの写真を、首を長くして待っています！ぜひ、ご協力をお願い致します!!

師走を迎えるました。農作業も一段落し皆さん、いかがお過ごしでしょうか？あつという間に月日がたち、一年が終りますね。最近この話をすると、年を取ったと言われてしまします：（笑）

